

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 5月 30日

事業所名 第3親子教室うみべ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	0	0	パーティションを 開けて空間を広く している	遊ぶコーナーを分けるなど 部屋を有効に使えるように 工夫していく
	②	職員の配置数は適切である	3	0	0	基準より多く配置	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	2	0	1		玄関の段差などは難しいが 出来ることを考えていく
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	3	0	0	反省会で提案 を活動で取り入れ る	職員が意見を出しやすい環 境を作る
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	3	0	0	ガイドラインアン ケートを活用	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3	0	0	ホームページに掲 載	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	0	0	3年ごとに第三者 評価を受けている	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3	0	0	オンライン研修受 けている	研修に参加出来ない職員に どうすれば参加できるかを 考えていく
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0	面談をしてアセス メントの内容を確認	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	3	0	0	学齢クラスでは、 学校での様子も聞 くようにしている	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	0	苦手なこと、力を つ てほしいことを話し 合って活動を考え ている	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3	0	0	繰り返しながら変 化をつけている	季節にあわせた活動内容を 考えていく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2	0	1	夏休み中などに イベントを設ける	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	3	0	0	臨床心理士の 個別指導	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	3	0	0	反省会の時に次 回の話をする	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	0	1	反省会で振り返り を行っている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0	個別に支援内容を 記入	その日の活動の様子のほ かにも対応したこと、反応な ども残していく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	3	0	0	面談を行なっている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	3	0	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	3	0	0	相談支援サービス 担当者会議に担 当職員が参加を している	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	3	0	0	年間予定表を提出 してもらっている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	3	対象児がいない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	3	0	0	児発から放デイに 移行する人が多い	児童発達から続けて対応す ることが出来ている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	1	0	2		小学生のみ在籍のため
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	0	0	こども発達セン ターからの研修の 知らせをもらって いる	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	1	0	2		通常級に行っている子が多い
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	3	0	0	担当の職員が参 加	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	3	0	0	連絡ノートを活用	サービス提供記録を渡して いるが、お迎え時に口頭で 伝えることもある
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	3	0	0	交流会や懇談会を 開催	懇談会に元教員に参加をし てもらい助言をもらっている	
保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	0	0	契約書や重要事 項説明書にて話を している	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	0	連絡ノートの内容 によって面談を 行っている。クラス のリーダーが話を 聞いている。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	3	0	0	職員主催の保護 者会以外にも保護 者会主催の勉強 会を行っている	
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	3	0	0	苦情対応マニユ アルを作って対応	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明 責 任 等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	0	おやこ教室ニュースを毎月発行している	
	③⑤	個人情報に十分注意している	3	0	0		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	0	口頭だけでなく書面する、目立つところに貼りだしている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	0	0	おやこまつりを開催した	
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0	0	職員会議で説明、話し合いをしている	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	0		
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	0	合同職員会議の時に研修をしている	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0	0		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	0	目につくところに貼りだし職員が把握出来るようにしている。検査結果のコピーをもらうなどしている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	0	反省会で話したあと書面に残している。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。